

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	日本史A	2	英語・人文	選択	2
使用教科書 ・副教材等	高等学校 日本史A (第一学習社)				
学習目標	我が国の近現代の歴史展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連づけるとともに、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的な思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 考查まで	<p>第1章近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>第1節 近代への胎動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せまってくる外国船、ちからを蓄える庶民、近代思想のいぶき、揺らぐ幕藩体制 <p>第2節 開国と幕末の動乱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒船がやってきた、志士たちの時代、手を結ぶ薩長 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の日本の対外関係について理解する。 ・産業及び商業の発達、教育の推進の面から、当時の庶民の様子を理解する。 ・江戸時代後期に、国学や洋学をはじめさまざまな学問・思想が開いたことを理解する。 ・幕末の幕藩体制の動揺と諸藩の改革について理解する。 ・開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。 ・開国以後の情勢について、幕府が崩壊する過程を含めて理解する。
一学期期末 考查まで	<ul style="list-style-type: none"> ・近代との出会い、江戸幕府が終わり新政府へ <p>第3節 近代国家の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇の軍隊がつけられた、スローガンは「富国強兵」、国会開設が決まった、立憲政治がはじまった <p>第4節 対外関係の推移と近代産業の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米と肩を並べる国をめざして、清国との対立が深まった 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 ・明治政府の中央集権化及び藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し、憲法制定や国会開設に至る一連の動きを理解する。 ・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正をめざし、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。 ・日清・日露戦争の経緯と結果、また、この戦争を経て、アジアに対して日本が勢力の拡張を行ったことを理解する。
二学期中間 考查まで	<ul style="list-style-type: none"> ・藩閥と政党が接近した、ロシアとの戦争がおこった、アジアへの勢力拡大がはじまる、国民の生活が圧迫された、綿糸と生糸が支えた産業革命、欧米の資本主義に仲間入りした、貧富の差が広がった <p>国家主義が台頭する、教育が進展した 明治の文化が開花した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明治後半から大正期において、国内的に政党政治が開花したことを理解する。 ・日露戦争以後も、朝鮮半島や中国において日本の権益を拡大する動きが続いたことを理解する。 ・資本主義の発展によってさまざまな社会問題が発生したことを理解する。 ・国家主義思想や大正デモクラシーの風潮に着目して、明治期と大正期の思想の違いについて理解する。
二学期期末 考查まで	<p>第2章 両大戦をめぐる国際情勢</p> <p>第1節 第1次世界大戦と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民衆が政治を動かした、朝鮮・中国の民衆が立ち上がった、「平民宰相」が登場した、抑圧からの解放を求めて <p>第2節 第2次世界大戦と日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恐慌の嵐が吹きあれる、軍部の暴走がはじまった、アメリカとの戦争が始まった、戦争が拡大する、生活も戦争に染まった 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦に日本が参戦した意図や、第一次世界大戦を通しての日本の外交方針について理解する。 ・第1次世界大戦を通じて民主主義的な風潮が高まるなかで、さまざまな社会運動が活発になったことを理解する。 ・世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について理解する。 ・軍部台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 ・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程と経過を理解する。
学年末 考查まで	<p>第3章 現代の日本と世界</p> <p>第1節 日本の再出発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・占領軍がやってきた、新しい国のしくみ <p>第2節 独立後の政治と経済の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和への願いが叫ばれた <p>第3節 現代の日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つのショック、政局と経済が混迷する 	<ul style="list-style-type: none"> ・主権回復後の日本国内の政治推移、外交関係の確立について理解する。 ・高度経済成長の実態と、その歴史的意義について理解する。 ・冷戦の終結後の世界情勢と、国内的な55年体制の崩壊について理解する。 ・現在の日本が抱える諸課題について、さまざまな面から理解する。 ・高度経済成長期において、科学技術の発達、産業構造の変化、消費の拡大など、これを機におきた変化について理解する。 ・経済発展の一方で、さまざまな社会問題があったことを理解する。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 授業態度・ノート整理等</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査・発表</p> <p>【資料活用の技能】 授業態度・発表</p> <p>【知識・理解】 定期考査</p>	